

地域の源

私たちの町内会

Vol.17

富ヶ丘南部町内会

会長 遠藤 光昭 さん
会員数 686世帯



今年度で40年を迎える富ヶ丘南部町内会は仙台市と隣接する南端に位置し、造成が盛んな昭和50年11月に大鳥屋町内会として、初代白石会長のもと107戸で元気よくスタートしました。その後も年々団地造成が進み、発足当時とは比べようのない程の変貌を遂げてきましたが、その都度、役員全員でそのときの課題やそれぞれの思いなどを話し合い、新しい業務に取り組みながら、改善、改良を図ってきました。

南部町内会では、南北合同夏祭り、人生の先輩を囲む会（敬老会）、オープンカフェ等行事を数多く行っています。町や民生委員、各団体、地域住民が力を合わせて人とのふれあいを大事にしながら行事に取り組んでいます。

また、経験豊かな先輩の皆さんを中心に、富ヶ丘小学校サポーターや読み聞かせ会、野菜の栽培、収穫等を通じた子どもたちの健全育成にも努めています。

この地区では、大震災から4年半が経過し、安定度が増えつつあるとともに、住民の移動により新しい会員が増え、社会環境も変化してきています。しかしながら、子どもたちや各種団体、新しい会員と行事などで交流を図ることで信頼関係を築き、防災関係や安全対策等で力を発揮できる明るい地域づくりに努めています。

富ヶ丘南部町内会では、今後も平成22年9月に完成した新しい富ヶ丘南部会館をコミュニケーションの拠点として、子どもから高齢者までそれぞれのグループ内でディスカッションを盛んにしながらふれあいを強めていき、皆で考え行動して住みよい地域づくりを更に進めていきます。